



第11回「**道徳のまち笠松のつどい**」 オユナさんを招き、対談とコンサートを実施！

3月3日（日）、笠松中央公民館3階大ホールにおいて、約300人の参加者のもと、第11回の「道徳のまち笠松のつどい」を開催しました。

「つどい」は2部構成で、第1部は川部副町長のあいさつの後、第5回“かさまつ いいね”写真展入賞者の表彰を行いました。今回は、約90点の応募作品の中から『かさまつ いいね大賞』2名、『かさまつ いいね賞』5名の7作品を選出しました。次に、「道徳のまち笠松」の活動紹介を行いました。

第2部は「共に生きる」をテーマにして、モンゴル出身のシンガーソングライター、オユナさんによる対談とコンサートを行いました。

始めに、オユナさんが自身の曲「わすれもの」を熱唱した後、道徳のまち笠松委員の道家嗣典さんとの対談となりました。オユナさんは、日本人のよさをたくさん話してくださいました。そして、「人のためにできる何かをしたい」「誰かの助けをしたい」と自分の信条についてなどを話されました。約40分という時間でしたが、中味のいっぱい詰まった対談となりました。

その後は、オユナさんによるピアノの弾き語りによるコンサートとなりました。短いトークを交えながら、「天の子守歌」「広島折り鶴の歌」「イマジン（ジョン・レノン）」「赤とんぼ（童謡）」など歌っていただきました。「モンゴルの歌姫」と称されるように、その美しく澄んだ歌声は参加者の心に響きました。そして、ぎふ児童合唱団のサプライズ出演。オユナさんと一緒に「ひとひらの平和」を歌いました。さらに、会場全員で「ふるさと」を合唱しました。最後に東北大震災チャリティーソング「花は咲く」を歌われ、コンサートを終えるとともに、つどいを終了しました。



取材を通して・・・オユナさんを招いての対談とコンサートは、実に「道徳のまち笠松」にマッチした内容でした。私たちが大切にしていけるべきことがさらに明確になったように思いました。

発行：「道徳のまち笠松」事務局（笠松町教育文化課）

連絡・問合せ・情報提供は・・・笠松町中央公民館（TEL388-3231）まで

